

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の対策として、火災発生時に備えての避難訓練は年2回行っているが、それに加えて地震発生時の対策についても再確認を行い、避難場所や備蓄の内容を全員が把握できるようにしたい。	職員全員が地域の避難場所を把握し、安全な避難誘導を行えるようにする。	地震発生時の想定で避難場所まで実際に移動するなどしてシミュレーションを行い、問題点について苑内研修等で話し合い、安全な避難誘導のために意識の統一を図る。避難場所の特徴についても理解しておく。	6 か月
2	33	事業所で出来ることの説明は十分に行っており同意も得ているが、終末期に入ると御家族の不安や戸惑いも大きいため、医師との連携をしっかり行って、不安無く終末期を過ごしていただきたい。	ご本人の意思を十分尊重しながら、ご家族にとっても不安や迷いのない終末期を過ごしていただく。	終末期に入る前に、出来る限り早い段階から意思の確認や対応の説明を行い、また普段からご家族との関わりを密にして終末期への移行がスムーズに行えるよう信頼関係の構築に努める。	6 か月
3	4	運営推進会議への利用者家族の案内は行っているが、実際の参加が少ないため、もっと参加の機会を増やしたい。	運営推進会議に、利用者とそのご家族に参加して頂けるようにする。	苑だよりによる案内を行っているが会議の内容などは記載されていない為、どういった会議なのかを具体的に記載したり、口頭での説明・依頼を行うなどして、参加して頂けるよう呼びかけを行う。	12 か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。